

太陽光発電でアフリカの教育環境を改善

～フィルム型太陽光パネルで学校電化し、LED ランタンを持ち帰って家庭学習～

国際協力機構（JICA）は2月3日、「中小企業・SDGs ビジネス支援事業 案件化調査（中小企業支援型）」において株式会社川口スチール工業（佐賀県鳥栖市、川口信弘代表取締役）が提案する「学校ソーラー充電システム導入による教育環境改善案件化調査」（ブルキナファソ）を採択しました。

西アフリカに位置するブルキナファソは非電化地域が多く、ほとんどの中学校に照明がなく、就学率や進学率、修了率が低いのが課題です。太陽光発電システムとLED ランタンを組み合わせた「学校ソーラー充電システム」を同社が中学校に導入することにより、教室と生徒の自宅に明かりが灯り、教育環境が改善され教育の質の向上が期待されます。

通常のソーラーパネルはガラス製で重く割れ易いため、アフリカの薄い屋根には設置が困難ですが、同社のフィルム型ソーラーシートと軽量ソーラーパネル架台を使うことによって、アフリカの薄い屋根にも太陽光パネルを取り付けることができ、学校の電化が可能となります。



学校ソーラー充電システム導入による教育環境改善案

本案件では、モデル校に学校ソーラー充電システムを設置し、LED ランタンを生徒に貸出す試用サービスを行います。このサービスを通して LED ランタンの貸出方法やレンタル料徴収方法等を検証し、さらに、導入後の生徒の出席率や自宅での学習時間等の変化を検証して、教育の質の改善につながっているかのモニタリングを行います。

本事業は、「案件化調査（中小企業支援型）」として実施されます。「案件化調査」は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術を ODA 事業に活用するための 情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたものです。2012 年度から実施されており、2019 年度第二回分は本年 10 月に公示を行い、33 件が採択されました。今後の契約交渉を経て契約に至ったものから、順次調査を実施します。

参考：（プレスリリース）案件化調査 2019 年度第二回公示の採択結果について

URL：https://www.jica.go.jp/press/2019/20200205_10.html

【本件に関する問い合わせ先】

JICA 九州 市民参加協力課 上島・勝田

TEL 093-671-8204 e-mail : katsuta.yukihide2@jica.go.jp